



ふくしま教育ニュース

2021年7月 第56号 編集・発行 福島県教育委員会



令和4年度県立高等学校入学生より

個人所有端末による生徒1人1台端末環境を実現します

小・中学校で児童生徒1人1台端末環境が実現し、さらに全ての県立学校に校内Wi-Fiが整備されたことに伴い、令和4年度県立高等学校入学生から年次進行で、生徒1人1台端末環境を個人所有のキーボード付き端末の導入により実現します。

使用端末については、家庭ですでに所有しているもの、または新たに購入するものとしますが、いずれの場合も各家庭において準備していただくこととなります。

なお、新たに購入する場合は、一定の所得までの世帯に対し県費による補助を行います。



1人1台タブレットを活用した2学年地域探究学習の発表会(磐城高校)

ねらい

これまでの学校教育(主体的・対話的で深い学び)とICTのベストミックスにより「学びの変革」を図り、生徒及び教師の力を最大限に引き出します。

主体的・対話的で深い学び



ICT(1人1台端末等)

学びの変革

- 生徒一人一人の特性や興味関心、視点を生かした「個別最適化された学び」
- 一人一人の違い、多様性を生かした「協働的な学び」
- 新たな価値を創造する「探究的な学び」

個人所有端末による導入のメリット

- ✓ 学校でも家庭でも文房具として活用できます。
- ✓ 十分な機能を備えた新品の端末を使用できます。
- ✓ 卒業後も継続して使用できます。

補助対象家庭と補助上限額

対象家庭	生徒1人当たりの補助上限額
非課税世帯・生活保護世帯(*)	45,000円
*以外の世帯のうち年間世帯所得金額が620万円以下の世帯	20,000円

※国の示す推奨モデル45,000円を踏まえて決定

購入及び補助手続き等

- 購入及び補助の事務手続きについては、令和4年3月の各高等学校における新入生オリエンテーションで詳細を説明します。
- 推奨モデルを設定するなど、機種選定に係る保護者の負担軽減を図ります。
- 補助に当たっては、生計を同じくしている世帯人員の所得を証明する書類が必要となります。

※県立特別支援学校高等部においても、1人1台端末環境の実現に向け、準備を進めています。



「ふくしま創生サミット」を開催しました

4月27日(火)に「ふくしま創生サミット」を福島県自治会館で開催しました。昨年までは方部ごとに行いましたが、生徒たちの視野をより広げるために初めて全県一堂に会しての開催となり、県立高校78校から代表生徒各1人が参加し、自分たちが暮らす地域についての理解を深めました。

午前中は、複数のグループに分かれ、各校が取り組んだ地域課題探究活動の共有を図りました。午後からは、地区ごとに地域課題の解決に向けて、高校生の視点で地方創生・活性化に向けた「宣言」を作成し、全体の前で発表しました。協議の中で活発に意見を交わす様子が見られ、多様な視点からの質疑応答も行われました。

他校の探究活動や地域の現状を知るとともに、話し合いを通して学科や地域を越えて自分とは異なる視点や考え方に触れることができ、自校での今後の取組に活かしたいという感想が出されました。地域の課題を再発見し、解決に向けて他者と連携・協働しながら主体的に考えて行動できる力を育む各校の取組にこれからも期待します。





令和4年4月に 5つの統合校が開校します!

須賀川高校と長沼高校を統合して

新たに**須賀川創英館高等学校**となります。

現在の須賀川高校の校舎を使用します



2年生から自分の進路希望に合わせた**コース**を導入し
丁寧な学習指導と進路指導で
大学進学から就職まで多様な進路希望を実現します!

設置学科と定員
普通科
1学年 240名
(6学級)

1年次

2年次 | 各コース(案) (目指す進路に合わせて選択する)

目指す進路

全員が共通の内容を学習

文科系探究コース	英語の力を含めた表現力の習得	国公立大(文系) 私立大、短大
理数系探究コース	数学や理科学分野における探究力の習得	国公立大(理系、保健・医療系) 私立大、医療系専門学校
芸術・スポーツコース	芸術・スポーツを活かす力の習得	芸術系・体育系大学、 専門学校
ビジネス・教養コース	社会で活躍するために必要な実践力の習得	公務員、専門学校 地域企業等への就職

特色ある取組

学校設定科目
「**経済社会と人間**」を設定

主権者・18歳成人として社会的・職業的に自立した、主体的に取り組む生徒を育てます

県の教育プログラム
「**保健・医療コース**」実施校

体験学習や講演会等を実施し、医療従事者としての人間性、職業観を高めます



大沼高校と坂下高校を統合して

新たに**会津西陵高等学校**となります。

現在の大沼高校の校舎を使用します



「**キャリア指導推進校**」として、
生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実により、
大学進学から就職まで多様な進路希望を実現します!

設置学科と定員
普通科
1学年 160名
(4学級)

1年次

2年次より目指す進路に合わせてコース(案)を選択

全員が共通の内容を学習

進学探究コース	リーダーシップを発揮して地域の核となる人材の育成
教養探究コース	豊かな教養を身につけ地域に貢献できる人材の育成
情報会計コース	地域産業の発展に貢献できる人材の育成
健康福祉コース	専門性を生かして地域に貢献できる人材の育成 スポーツ、家政、福祉の3系列

県の教育プログラム
「**福祉コース**」実施校
地域の福祉機関等と連携し、体験学習や講演会等を実施。
介護・福祉サービス従事者としての人間性、職業観を高めます。

地域探究型学習を中心とした学びの充実
地域の課題を他と協働しながら、主体的に解決に取り組む学びの実践

検定、資格取得にも力をいれます。
介護職員初任者研修 等

生徒の目指す進路を実現!

- 四年制大学、短期大学
- 各種専門学校
- 地元企業、福祉施設等への就職
- 医療・福祉系専門学校

令和4年4月に開校する統合校のうち、全日制4校(須賀川創英館、会津西陵、いわき湯本、相馬総合)はキャリア指導推進校として、生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実により、大学進学から就職まで多様な進路希望を実現します。

また、定時制課程の統合校(ふくしま新世)は、夕・夜間部の設置や単位制の導入により、学び方の選択肢を広げるなど、生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育活動とキャリア教育により、生徒の進路希望を実現します。

統合校のより詳しい情報はこちらから▶



湯本高校と遠野高校を統合して

新たにいわき湯本高等学校となります。

現在の湯本高校の校舎を使用します



「キャリア指導推進校」として、
大学進学から就職まで幅広い進路希望を叶える高校!!

設置学科と定員

普通科
1学年 240名(6学級)

学習に力を入れたい、部活動をがんばりたい、そんな自分の「得意」を伸ばします!

1年次

2年次よりコースに分かれて学習

目指す進路

全員が共通の
内容を学習

アカデミックコース

国公立大学・私立大学等への進学、
スポーツ・芸術分野の大学進学にも対応したカリキュラム

四年制大学、
スポーツ・芸術分野への大学進学

スペシャリストコース

短期大学・専門学校・公務員・就職等の
幅広い進路希望に対応したカリキュラム

短期大学・専門学校への進学、
公務員、一般企業への就職

地域と連携した探究的な学習活動を充実させます

県の教育プログラム

「保健・医療コース」実施校

医療系大学・専門学校等への
進学希望者を対象に、体
験学習や講演会等を実施
し、医療従事者としての人間
性、職業観を高めます



相馬東高校と新地高校を統合して

新たに相馬総合高等学校となります。

新たな総合学科の高校が誕生!

防災・復興教育や地域と連携した探究学習などをとおして、生徒一人一人の個性を伸ばし、未来のまちづくりを推進する人材を育成します!

設置学科と定員

総合学科
1学年 200名
(5学級)

現在の相馬東高校の
校舎を使用します



1年次

2年次より
目指す進路に合わせて系列を選択

生徒一人一人に寄り添った指導体制

●基礎・基本の徹底を図る習熟度に応じた少人数での
分割授業や複数教員によるチームティーチング授業

防災・復興教育

●「東日本大震災」からの教訓と伝承、そして自然、人間、
まちづくり等幅広いテーマで学びを設定
●「防災・減災」について多角的な視点から課題を見つけ、
課題解決のために政策等の提言を目指す

地域と連携した学び

●相馬市・新地町・南相馬市を学習フィールドとして、自分が
暮らす地域への理解を深め、学びの成果を地域に還元

多様な進路の実現

四年制大学

短期大学

看護・医療、福祉、保育、情報、
ビジネス等多様な分野の
専門学校への進学

公務員(行政、警察官、自衛隊等)
や企業等への就職

全員が共通の内容を学習
「産業社会と人間」

「5つの系列」
文 理 教 養
ス ポ ー ツ
芸 術
生 活 福 祉
産 業 ビ ジ ネ ス
総合的な探究の時間
(課題研究)

保原高校定時制課程と福島中央高校を統合して

新たにふくしま新世高等学校となります。

県北の新たな普通科定時制高校として、
県内初となる夕間部と夜間部の設置と、単位制の導入により、
多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開していきます!

設置学科と定員

普通科
1学年 40名
(1学級)

現在の福島中央高校の
校舎を使用します



自分の生活スタイルに合わせて
学習時間を選択することができます!

夕間部

(午後3時頃～午後7時頃)
午後からの登校で学ぶことができます。

夜間部

(午後5時頃～午後9時頃)
日中働きながら学ぶことができます。

自分の学習プランに応じて、
卒業までの年数を選択することができます!

4年間で卒業

4年間かけて
じっくり学ぶことができます。

3年間で卒業
(夕間部の生徒のみ)

3年間で
卒業を目指すことができます。

一人一人に寄り添った、
きめ細かな教育相談に
より、みなさんをしっかり
支援していきます。



大学進学から就職まで幅広い進路希望の実現に向けてしっかりとサポートします。

国語や数学、英語など
基礎学力の定着

商業や家庭など
専門科目の導入

進路講演会やキャリア講演など
キャリア教育の充実

ICT機器を積極的に
活用し、一人一人の
理解度に応じた
授業を行っています。

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

作品募集

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の作品を今年度も募集します。子どもと大人、子ども同士の二人一組でペアを作り、日常生活などでの共通体験をとおした「絆部門」、ふくしまへの想い、復旧・復興等に関する「ふるさと部門（県内外から応募可能）」に作品をお寄せください。

募集期間 令和3年6月14日(月)～8月31日(火)

応募方法 応募用紙は各学校配布のものまたは社会教育課ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

応募先 作品は各学校またはお住まいの地域の教育事務所、県外の方は直接社会教育課へご提出ください。
※詳しくは、社会教育課のホームページをご覧ください。

福島県 十七字

【絆部門】
はちまきの軽トラじいちゃん
かっこい 小学三年生

【復興部門】
かにみつけおやこのわらい
ひびくろみ 小学一年生

波しびきあふれる笑顔
戻りつつ(母)

ひ孫から野菜つまごと
褒め言葉(曾祖父)

令和2年度最優秀作品より

令和3年度中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

科学する心の育成を図り、明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

令和3年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

- ◆募集対象 県内の中学校(含む中部)・高等学校(含む高等部)の生徒
※中学校には、義務教育学校後期課程を含みます。
- ◆募集期間 令和3年9月1日(水)～9月9日(木)(必着)

福島県義務教育課
福島県高校教育課

まほろん開館20周年記念企画展

文化財をよみとく科学のチカラ

まほろんには、放射性炭素年代測定や蛍光X線分析、樹種同定や花粉分析など、各種自然科学分析を行った資料が多く保管されています。それらの科学分析の成果が遺跡の解明に貢献した事例を紹介します。

開催期間 7月22日(木・祝)～9月20日(月・祝)
場所 福島県文化財センター白河館(まほろん)
休館日 毎週月曜日(8月9日、9月20日を除く)、国民の祝日の翌平日
入館料 無料 **開館時間** 9:30～17:00

まほろん



LINEで相談しませんか?

県では、LINEを活用した相談窓口「ふくしま子どもSNS相談」を開設しています。LINEで、児童生徒のみなさんの不安や悩みを、臨床心理士等の資格を持っている専門家に相談することができます。

対象 県内公立学校の児童生徒 **相談受付** 毎日17:00～20:40(相談は21時まで)
相談方法 LINEのトーク画面で相談
学校から配布されたチラシに載っているQRコードを読み取る ⇒
友だち登録 ⇒ 相談開始

※相談内容によっては専門機関と情報を共有することがあります。



令和3年度からアカウント名が変わりました。令和2年度までに友だち登録をしている人も、もう一度友だち登録してください。相談したい人は、担任の先生にチラシをもらってね!

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」 **0120-453-141**

〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」 **0120-916-024**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

レストラン経営 39歳
加入歴:15年

手頃なのに
保障は手厚いんです

想像以上でした。

ご加入者から
想像以上の声、
続々。



約束に、まっすぐ。
都道府県民共済

主婦 35歳
加入歴:5年

支払いの
早エにびっくり

※年齢と加入歴は2020年9月現在のものです。

共済取扱団体 福島県民共済生活協同組合 **0120-282-869** [受付時間] 平日 9:00～17:00
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報誌へのご意見をお寄せください